

主催：応用物理学会微小光学研究会

協賛：日本光学会，電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティ，オプトロニクス社，
アドコム・メディア



第 181 回微小光学研究会 「モビリティと微小光学」

自動運転が身近なものとなる時代が近づいています。カメラやライダーなどの光センサーに加え，これらが取得する大容量データを低遅延で伝送するための車載光ネットワークも不可欠です。本研究会では，自動運転の現状，車載光ネットワーク研究の最新動向，ならびにそれらを支える光デバイスの研究について，第一線で活躍する研究者の皆様にご講演いただきます。また，航空機へ搭載されたライダーによるリモートセンシングの研究についてもご紹介いただきます。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：2026 年 12 月 2 日（水）13:00-17:25

会場：名古屋工業大学 4 号館 1 階ホール

（オンライン同時開催予定）

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

<https://www.nitech.ac.jp/access/index.html>

交通：①JR 中央本線「鶴舞」駅より徒歩 7 分

②地下鉄鶴舞線「鶴舞」駅より徒歩 10 分

③地下鉄桜通線「吹上」駅より徒歩 10 分



プログラム

13:00-13:05	開会の挨拶	
13:05-13:50	【特別講演Ⅰ】自動運転と運転知能	武田一哉（名古屋大）
13:50-14:20	高速車載光通信部材・システムの研究開発	大石英一郎（矢崎総業）
14:20-14:50	積層型 SPAD 距離センサーを用いた車載 LIDAR 技術	鈴木俊平（ソニーセミコンダクタソリューションズ）
14:50-15:20	航空機搭載用偏光ライダーの研究開発	井之口浜木（JAXA）
15:20-15:35	<休憩>	
15:35-16:20	【特別講演Ⅱ】車載光ネットワークの研究と標準化	菅野敦史（名古屋工大）
16:20-16:50	完全自動運転のための車載光ネットワーク SiPhON 開発	野口大輔（古河電気工業）
16:50-17:20	モビリティへの応用に向けた光集積化技術の研究	中井真琴（豊田中央研究所）
17:20-17:25	閉会の挨拶	

参加費（消費税込，予稿集代含む）：応用物理学会会員 4,000 円，非会員 5,000 円

学生・シニアの応用物理学会会員 1,000 円，学生・シニアの非会員 2,000 円

参加申込：要事前申込。 <https://www.comemoc.com/> よりお申込ください。

（開催日の数日前に予稿集と請求書を郵送いたしますので，参加費を後日お支払いください。）

担当委員：河野（三菱電機），北（早稲田大），杉原（宇都宮大），土屋（名工大），山口（工学院大）

問合せ先：微小光学研究会事務局 office■comemoc.com（■を@に換えてください。）

微小光学研究会 代表：伊賀健一 運営委員長：波多腰玄一 実行委員長：宮本智之

副代表：中島啓幾 運営副委員長：横森清 実行副委員長：荒川太郎，高橋浩

※プログラムは微小光学研究会のウェブサイト <https://www.comemoc.com/> でもご覧いただけます。

※オンライン同時開催予定です。現地会場における聴講は先着順のため，会場の定員(100 名)に達する場合はオンライン聴講となりますのでご了承ください。